

令和5年度 第2回彦根市公共下水道事業審議会 議事録 (R5.12.20)

1. 日時 令和5年12月20日(水) 10時～11時
2. 場所 彦根市役所本庁舎 第1委員会室
3. 出席者(順不同)

<委員> 6名

中村 傳一郎

横山 幸司

丸尾 雅啓

長崎 敏雄

松本 重彦

渡邊 美幸

<事務局> 13名

上下水道部：木村部長、福井次長、辻副参事

上下水道総務課：清水課長、野口課長補佐、若林

下水道建設課：青木課長、大林課長補佐、山本副主幹

上下水道業務課：岩井課長補佐、友本副主幹

道路河川課：田村課長補佐、大橋副主幹

<傍聴人> 1名

伊藤 容子

【開会】

事務局

ただ今から、令和5年度第2回彦根市公共下水道事業審議会を開催いたします。
本日の司会を務めさせていただきます上下水道総務課の若林でございます。よろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

本日の会議ですが、彦根市公共下水道事業審議会条例第6条第3項の規定により、会議の成立要件といたしまして、委員の過半数の出席が必要となっております。本日は8名中6名の方がご出席でございますので、ここに会議が成立しましたことをご報告いたします。

それでは、ただ今から会議次第に従いまして進めさせていただきたいと存じますが、審議会条例第6条第2項の規定により、会議の議長は会長があたることとなっておりますので、中村会長よりよろしくお願いいたします。

【議事】

会長 それでは、ただ今から議事に入らせていただきます。

 本日の議事は「彦根市下水道事業経営戦略の策定について」と「(仮称)彦根市上下水道事業審議会の設置について」の計2点になります。それでは、議事の1番目、「彦根市下水道事業経営戦略の策定について」事務局から説明をお願いします。

事務局 (「彦根市下水道事業経営戦略の策定について」事務局より説明。)

会長 事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問がありましたらお願いします。

委員 計画期間が令和5年度から令和14年度で10年という期間になりますが、途中段階の扱いはどうなりますか。

事務局 先の12月議会で債務負担行為をお認めいただきましたので、令和6年度から第7期経営計画の策定に取りかかっていきたくて考えています。第7期経営計画は令和8年度から開始になりますが、その計画と今回策定した経営戦略を一本化して策定したいと考えています。

委員 資料1の3ページの(1)処理区域内の人口予測が令和14年度まで増えていく見通しになっているのは、管渠の整備や接続が進むことからでしょうか。

事務局 人口の予測については彦根市人口ビジョンとの整合を図っていますが、処理区域内の人口予測については、接続が増えることによる増加を見込んでいます。令和16年度にピークを迎える試算になっています。

委員 同ページの(2)有収水量の予測で、今使用している1人当たりの有収水量を人口に掛けて算出されていますが、この1人当たりの使用量が今後どう変化していくのか、見通しがあれば教えていただきたいと思います。

事務局 有収水量の予測については、令和3年度実績から算出した1人当たりの1日の有収水量を処理区域内水洗化人口の見込みに対して掛けたものを見込んでいます。

 使用量が節水設備等の普及によってかなり減少していますが、急激な減少は今後しばらく見込んでいません。

委員 9ページの投資・財政計画で、料金収入の見込みとして令和3年度は14億7,000万円、令和4年度は14億8,000万円、令和5年度は14億9,000万円で、令和6年度には16億円となり、令和5年度から令和6年度の上がり幅が急になっているように感じますが、何か理由がありますか。

事務局 第6期の経営計画と整合を図る形で見込んでいますので、やや実情に即していない部分があるかもしれません。そういった実情との乖離という部分も含めて次の経営計画と経営戦略に関しては一本化して、それぞれの整合を図りながら進めていきたいと考えています。

 令和8年度についても2億円弱伸びていますが、こちらは使用料改定を見込んでいることからです。

委員 3ページの(4)施設の見通しについて、令和9年度で一般的な整備事業は完了して農業集落排水から公共下水道への接続を計画すると記載があります。現在、農業集落排水は農林部局の所管かと思いますが、利用者の方々へ接続についての説明や使用料の周知等

はどうされていますか。

事務局

コロナ禍以前の話になりますが、農業集落排水の各組合の代表の方に、公共下水道へ切り替えるタイミングが近々来るという周知はさせていただきました。公共下水道を切り替えるにあたって、手続き等の流れを説明する場を設けるように要請はさせていただきましたが、コロナ禍でなかなか機会が設けられていない状況です。

基本的には、農業集落排水を切り替えできるところまで下水道管を延ばすことが我々の仕事であって、切り替えるか切り替えないかの判断については、農業集落排水の使用者の方に委ねています。

委員

すぐに公共下水道へ切り替える方としばらく農業集落排水を使い続ける方の両方が存在する可能性があるということですか。

事務局

一斉に切り替えることは、予算的にも難しいと思っておりますが、全部で7つある処理場を計画的に切り替えていただきたいと考えています。ただ前後する可能性がありますので、接続が進まない処理区が出てくることもあるかと思っております。

農業集落排水の施設は供用開始から30年以上経過しており、施設の更新を考えておられると思いますが、彦根市としての新たな投資についての判断は農業集落排水の管理部局の方で判断することになるかと思っております。

委員

公共下水道に繋ぐときに、受益者負担金は発生してきますか。

事務局

現在、団地内等の集中合併浄化槽の切り替えを進めていますが、その手続きと同じ考えで行うことから受益者負担金として新たにご負担いただく予定はありません。

委員

農業集落排水から公共下水道に切り替えると、使用料はどのように変化しますか。

事務局

農業集落排水の料金体系と公共下水道の料金体系が違っているため、一概に比較することは難しいですが、あまり大きな変化はないかと考えています。詳しい試算はまだできていない状況です。

農業集落排水は基本料金と人口割になり、人数で料金を徴収されています。例えば一般家庭の4人家族で比較すると、あまり大きな開きはないかと思っておりますが農業集落排水を使用する方が若干安くなるかもしれません。

委員

農業集落排水と接続するときに、接続の工事は農林部局が担当になるかと思っております。その時に、例えば不明水が多いため修繕をする等、公共下水道に繋ぐ際に支障があって修繕が必要になる場合についても農林部局のほうで担当になりますか。

事務局

公共下水道に切り替えると、農林部局としては施設の管理もなくなり、使用料の徴収事務もすべて下水道部局で行うことから、料金体系や費用の負担、事業の成り立ち等の問題をクリアできる形を取っていただきたいと協議をしていますが、担当の詳細はまだ決まっています。下水道部局としては、いつでも迎えに行ける状態にしていきたいと思っているので、ハードの整備については対応できるよう準備していきたいと思っています。

委員

計画期間中に見直しをして、場合によっては方向性を変えていくことも必要になるかと思っております。こういったタイミングで経営計画等を検証して見直されるのか教えてください。

さい。

事務局

今回経営戦略を策定させていただき、来年度から経営計画の策定に入ります。令和6年度の予算はこれから決まっていきますので、まずその数字を変えていきますし、それによって推計値も変わっていきます。現行の経営戦略は、先ほどご質問がありましたように令和6年度以降の収益が高めに出ており、その数字でシミュレーションをしても経営が厳しい状況になるのが今回の経営戦略でしたので、実績値と置き換えるともっと厳しい状況になっていく見込みです。

計画等の見直しについては、総務省や国土交通省から5年に1度は見直すよう通知がありますので、少なくとも5年に1回は見直す予定をしています。後ほど説明させていただきますが、当審議会の形態を変える予定をしており、今後は上下水道を併せて審議していきたいと思っています。両事業のバランスを見ながら、できれば年に1度は状況報告する場を設けさせていただきたいと思っています。

会長

他にご意見ご質問等はないようですので、議事の2番目、「(仮称)彦根市上下水道事業審議会の設置について」について事務局から説明をお願いします。

事務局

(「(仮称)彦根市上下水道事業審議会の設置について」事務局より説明。)

会長

事務局より説明がありましたが、ご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

委員

基本的に賛成です。一本化することによって円滑にコミュニケーションが取れることが大事だと思います。料金改定や整備も含めて上下水道事業を表裏一体で進めていかなければいけない場面が多くありますが、料金改定をする時だけ、ビジョンを作る時だけ等、目的がある時にだけ審議会を招集される自治体もあります。予算・決算、数年に一度は計画やビジョン等の見直し、それを経て料金改定がありますので、審議会は定期的で開催することが望ましいと思います。

所掌事務については、設置要綱等の中では、農業集落排水も含めてご検討されたいかと思います。参考に、長浜市は企業団として独立しているため上水道の審議会はありませんが、下水道事業審議会委員の中には企業団の事務局長が入っておられます。農業集落排水の担当は下水道部局が担っていることから、農業集落排水については下水道審議会で併せて審議しています。

それから、会議の開催方法の特例としてオンラインの開催が盛り込まれている点が時代を反映していて良いと思います。

会長

上下水道事業審議会の設置についての条例案は、2月議会に上程されるということですので、そこでお諮りいただいて、新しい形で令和6年度を迎えたいと思います。

以上で予定の議事は終了しましたが、全体を通してご意見やご質問がありましたらお願いいたします。

特にないようですので、議長としての私の進行はここまでとして、あとは事務局に委ねたいと思います。

【閉会】

事務局

中村会長、ありがとうございました。

また、委員の皆さまにおかれましても、本日は長時間にわたり、ご審議賜りありがとうございました。

今回をもちまして、彦根市公共下水道事業審議会としては最後となる予定ですので、木村上下水道部長より委員の皆様にご挨拶申し上げます。

(木村部長あいさつ)

以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。